

スリ ムリナリニ マタ会長のお便り

2014年 5月 — 6月

親愛なる皆さん

私たちの敬愛するグルデヴァ パラマハンサ ヨガナンダはヤマ(すべきではないこと・禁戒)、ニヤマ(すべきこと・歓戒)を守ること、そして意識を内面に向けるためにグルから与えられたテクニックを実践することなどの霊的に成長するために必要不可欠な要素に対する気付きを常に私たちに与えて下さいました。“そして何よりも、魂の自由な働きを損なっているこの世の束縛を取り除くためには、神への愛を育まなければならない。”という点を強調されました。聖なる神はこの全宇宙で私たちの愛以外のすべてのものを持っておられます。ですからこの愛は私たちが神にささげることのできる最も大切な贈り物です。私たちの霊的な努力が神への愛によっていのちを与えられ、支えられる時、その本質が正に愛そのものである神の反応を否応なしに引き出すことによって、その努力は自らの目標を達成することができるのです。

意志を働かせる際に愛よりも素晴らしい刺激はありません。親しい人のために何かをする時にはただ単に義務を果たしている時に比べて楽しく、もっと興味を持って、もっと熱心に、そしてもっと注意深くおこなうことができます。同じことが私たちのサーダナ(霊的修行)にも当てはまります。もし私たちが日々の生活において神をリアルな、愛情に満ちた存在として理解するなら、霊的修行に対してもっとやる気になり、もっと集中することができるはずです。会員の方の中には例えば、心からの祈りが叶えられた時や、神聖な場所を訪れたり、心を高揚させる霊的な催しに参加した時のように、神への愛が自発的に生じるものだと考える傾向のある人たちがいます。確かにその時には気持ちが高揚しますが、日々の生活の様々なプレッシャーの中でその高揚感はとても簡単に色あせてしまいます。人の感情はこの世の二元性の影響を受けて揺れ動きます。しかし神への献身的な愛は私たちの存在のより深いところから生じる活力を与えてくれる力です。それは一本のわらに火を付けて一瞬、燃え上がったただけですぐに消えてしまうような輝きではなく、内面から安定して輝き続ける、決してその輝きを失うことのない霊的なラジウムのような輝きです。最も明るい時も、そして最も暗い時も、神へと向かう道を照らしてくれるのは敬虔な人の心に灯る確かな輝きです。私たち一人一人が神を無条件に愛する能力に恵まれています、そして私たちの意識を何度も何度も神に向けようと意識的に努力するたびに、その能力はさらに育っていくのです。グルジは“あなたが神のことを思うそのすべての思いの背後で神はあなたに呼び掛けておられるのです。そしてもしその神を求める気持ちという小さな火が赤々と燃えあがる神への愛の炎になるまで常に努力をおこなわなければ、神はやって来て下さいます。”と言って私たちを励まして下さいました。

見返りを期待することなく、愛をささげることによって神への愛は育まれます。そしてそれがどんなに小さなものであっても、聖なる神はすべての魂のささげものを受け取って下さいます。神の

恵みをいただいた時には好ましくない習慣を克服するためにいっそう努力をいしたり、あるいはたとえ望んでいる結果が得られないように思えたとしても、心を込めて瞑想をする努力をしましょう。私たちはすでに愛を行動に移しています、そしてその誠実さが神の心を動かすのです。瞑想は神への愛を強くするための最も効果的な方法です。なぜなら、ほんの一瞬でも神の平安と喜びに触れたなら、決して消え去ることの無い神とのさらに深い霊交を求める強い気持ちを呼び起こすからです。自分の役割を一生懸命に果たすことによって、あなたのその積極的な努力と神の無限の聖なる愛を受け入れることができるようになるまであなたの意識を着実に拡大して下さるグルの援助と神の恩寵という大いなる力との絶え間ない相互作用を動かし始めることができるのです。

神とグルデヴァの絶え間ない祝福に包まれて

セルフ-リアリゼーション フェローシップ会長
スリ ムリナリニ マタ (Sri Mrinalini Mata)

この文章は横浜瞑想サークルが独自に翻訳したものであり、
セルフ-リアリゼーション フェローシップの正式な翻訳ではありません。